

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月16日 (2015.4.16)

【公開番号】特開2013-186332(P2013-186332A)

【公開日】平成25年9月19日 (2013.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-051

【出願番号】特願2012-51920(P2012-51920)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/38 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 5/00 5 1 0 B

H 0 4 N 5/74 D

G 0 3 B 21/14 Z

G 0 3 B 21/00 D

G 0 9 G 5/00 5 5 0 C

G 0 9 G 5/38

G 0 9 G 5/00 5 3 0 H

G 0 9 G 5/36 5 2 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月27日 (2015.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 4 】

図 9 は、補正値を算出する方法を説明するための図である。まず、補正値を算出するためには、図 9 に示すようにスクリーン枠直線 L A 1 i と L A 2 i との交点 V を求めることで、パネル座標におけるスクリーン枠の頂点を求める。同様に、スクリーン枠直線 L B 1 i と L B 2 i との交点、スクリーン枠直線 L C 1 i と L C 2 i との交点、スクリーン枠直線 L D 1 i と L D 2 i との交点を求めることで、パネル座標におけるスクリーン枠の頂点をそれぞれ求める。そして、求めた頂点の座標から、周知の方法（射影変換）により入力画像に台形歪み補正をするための補正値（例えば射影変換係数）を算出する。算出された補正値は、R A M 1 7 5 に格納される。